



◆令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催
◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編
◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会
◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー
◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】
◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会
◇令和2年度能力開発セミナーのご案内
◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度
◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代住居リノベーション推進事業」
◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集
◇新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 令和2年度 「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

地震により被災した建築物の二次災害を防止するために、余震等によるその建築物の倒壊や落下物の危険性の判定を行うことを「応急危険度判定」と言い、その判定資格者を「応急危険度判定士」と呼んでいます。平成7年の阪神・淡路大震災において、この応急危険度判定は本格的に実施され、平成17年3月の福岡県西方沖地震、平成23年3月の東北地方太平洋沖地震などでも実施されました。また平成28年熊本地震においても判定士が全国から集まり、応急危険度判定を実施しています。今年度は下記のとおり、被災建築物応急危険度判定士を養成するための講習会を開催いたします。皆様方のご参加、ご協力をお待ちしております。

◆受講資格・対象者

- ・建築士（建築士法第2条第1項）または特定建築物調査員（福岡県内に在住または在勤している方）
- ・建築職の公務員（建築に関する実務経験が3年以上）
- ・令和2年度末（2021年3月31日）更新対象者（登録番号の先頭の数字2桁が15の方）
又は期限切れ等で再受講を希望する者（※更新者の講習会受講は更新要件ではございません。）

【北九州会場】

◇日 時 令和3年1月21日（木） 14:00～16:40
◇会 場 パークサイドビル 9F大会議室（北九州市小倉北区堺町1-6-13）
◇定 員 80名

【福岡会場】

◇日 時 令和3年1月28日（木） 14:00～16:40
◇会 場 アクロス福岡 7F大会議室（福岡市中央区天神1-1-1）
◇定 員 90名

■講義内容

応急危険度判定マニュアルについて 江崎 文也 氏（元 福岡大学工学部教授）

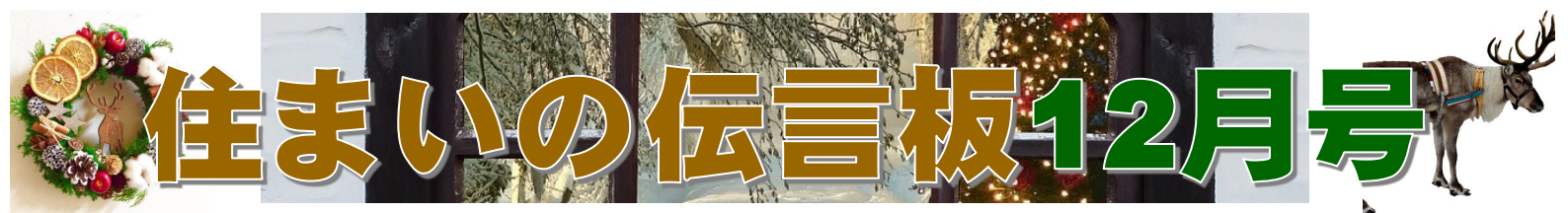
■受講料

無料

※各会場とも、定員になり次第締め切ります。定員超過により受講をお断りする場合のみご連絡いたします。※新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、マスク着用、検温、手洗い・うがいの徹底、会場内の静粛保持のご協力をお願いいたします。また、体調不良者の場合、ご退場をお願いさせていただきますことがありますこと、あらかじめご了承ください。

申込・詳細： URL http://www.fkjc.or.jp/wp/wp-content/uploads/2020/11/R2_okyu.pdf

（一財）福岡県建築住宅センター 企画情報部
〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 アクロス福岡 東オフィス3階
TEL：092-781-5169 FAX：092-715-5230



◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催
◆WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編
◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会
◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー
◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】
◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会
◇令和2年度能力開発セミナーのご案内
◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度
◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代住居リノベーション推進事業」
◇ 福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集
◇ 新設住宅着工統計（令和2年10.月分）

◆ WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

テキスト執筆者である、梶山健二先生、楠 浩一先生を講師に迎え、実際の講習会と同様に（通常の2日間の講義内容を全て網羅）、講義と計算演習（関数電卓の手計算）の取り組み方法について解説する内容で、自学自習で学べるプログラムとなっています。

「基礎2コース（保有水平耐力編）」は前編・後編の2部構成です。それぞれ各編ごとに、学習順序に従って講義を視聴した後、テキスト付録の演習シートを使いながら、「ひとりでやってみよう」（演習問題）に取り組む構成になっています。

本セミナーは、建築CPD情報提供制度認定プログラムとなっており、通常の講習会と同様に、同CPDポイントが付与されます。

前編198分（3単位）、後編179分（3単位）となっております。**なお、各編の受講料は10,000円（税込）となっております。**

・受講申込みされてから30 日以内なら何回でも繰返し再生できるので学習効果がアップします。

☆プログラム☆

前編（198 分）・・・受講料10,000 円（税込）CPD 3 単位

：2次設計とは、部材耐力等特性値の計算、 崩壊メカニズムと保有水平耐力

後編（179 分）・・・受講料10,000 円（税込）CPD3 単位

：必要保有水平耐力の算出、保有水平耐力の算出と保証設計

使用テキスト： ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習帳【保有水平耐力計算編】

価格： ¥4,180（税込） 情報交流会 正会員価格 ¥ 3,760（税込）

申込・問い合わせ先： URL <https://www.bcj.or.jp/seminar/detail/600>

一般財団法人 日本建築センター情報事業部

TEL： 03-5283-0477





住まいの伝言板12月号

◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

◆令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】

◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◇新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 令和2年度CLT設計者向け実務講習会

CLTを活用した建築物の普及が進む一方で、「CLTを使ってみたいが、何から学べばよいかわからない」という方の声を耳にすることがあります。そこで、そのような設計の経験がない方に向けた講習会を開催いたします。半日間の講習で、CLTを取り巻く状況やプランニングに関わる構造的な内容、耐久性や防耐火等の各種性能、施工に関わる知識を重点的に習得できます。

主に意匠設計の方の受講を想定した内容になっていますが、どなた様でもご参加いただけます。

☆WEB講習☆ e-ラーニングによるWEBでの講習です。WEB環境が整ったパソコンまたはスマートフォンで受講（視聴）ができます。

■受講期間（視聴期間） 令和2年10月1日（木）～令和2年12月31日（木）
この期間内にいつでも受講でき、また何回かに分けても受講、繰り返し受講もできます。

■参加 無料 ■定員 500 名

お申込期間：令和2年9月1日（火）10時～ 令和2年12月17日（木）24時
（受付期間内でも定員になり次第受付終了とさせていただきます。）

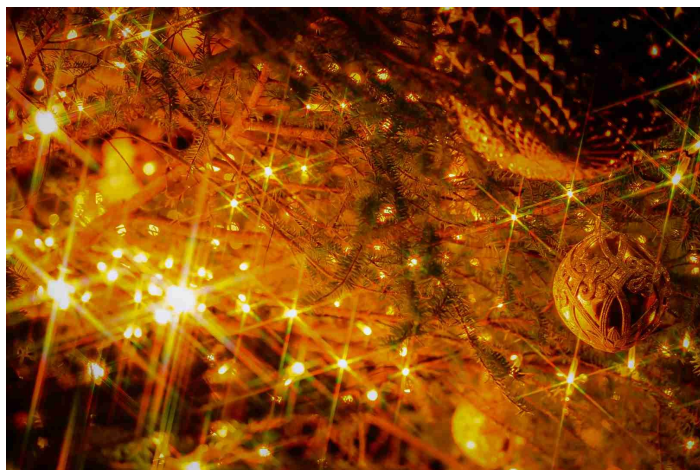
■受講（視聴）案内メール

お申込みいただいた方には、数日中に受講（視聴）案内メールをお送りいたします。この受講案内メールには、受講の際に必要な、URL、ログインID、パスワードが記載されております。受講されるときは、この受講案内メールに記載されているURLをクリックし、ログインID、パスワードを入力してください。

WEB講習のお申し込みはこちら → <https://www.koushuukai.com/clta/el/202009/>

問い合わせ先： URL <http://clta.jp/events/8397/>

CLT講習会事務局
TEL. 0120-117-802





◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◆建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】

◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

◇ 福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◇ 新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

15：00	主催者挨拶
15：05	★ 建設廃棄物の適正処理について 建設廃棄物におけるリスク・罰則、建設廃棄物における排出事業者、産業廃棄物処理のポイント等
16：00	休憩
16：05	★ 石綿に関する改正（石綿障害予防規則、大気汚染防止法）の内容と具体的対策について 石綿含有成形板・石綿含有仕上塗材等の除去工事に関する規制、事前調査結果の保存、写真等による作業の記録、事前調査者の資格要件、事前調査結果の報告等
17：00	終了

◎講師：株式会社ユニバース 環境コンサルティング事業部 子安 伸幸 氏

種別	受講料（テキスト代含む、税込）
会員	1,000円
非会員	2,000円

開催日時	申込締切	定員
2021年1月18日（月） 15：00～17：00	1月11日（月）	45名
2021年1月20日（水） 15：00～17：00	1月13日（水）	45名
2021年1月22日（金） 15：00～17：00	1月15日（金）	45名
2021年1月23日（土） 15：00～17：00	1月16日（土）	45名

申込・問い合わせ先： URL <https://www.mjkkoushuu.jp/seminar/detail/238>

（一社）日本木造住宅産業協会生産技術部
TEL：03-5114-3013 FAX：03-5114-3020



◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

◇ 令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◆第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】

◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代住居リノベーション推進事業」

◇ 福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◇ 新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 第二種電気工事士基礎講習会 【令和3年度試験対策】

「第二種電気工事士試験」は、年齢や実務経験の条件が無く、誰でも受験ができ、免状を取得できれば、一般用電気工作物の電気工事が可能となるため、人気のある資格試験です。

本講習会では、「第二種電気工事士 筆記試験」の合格を目指す初心者の方を対象に、試験に必要な電気工事の基礎知識や電気の基礎理論などを分かりやすく解説します。
第二種電気工事士の資格取得を目指される多くの方のご参加をお待ちしております。

【このような方におすすめ】

- ・今から第二種電気工事士試験の受験勉強を始める方
- ・電気器具や材料等の名称や用途がイメージできるようになりたい方
- ・複線図の描き方を習得したい方
- ・電気に関する計算問題を基礎から勉強したい方

開催日	令和3年3月6日（土） ～ 3月7日（日） 2日間 9：00～17：00
場 所	福岡商工会議所 （福岡市 博多区 博多駅前 2－9－28）

日 程		講 義 内 容
1日目	令和3年3月6日（土） 9：00～17：00	・配線図記号、器具・材料・工具 ・配線設計と電気工事
2日目	令和3年3月7日（日） 9：00～17：00	・検査方法、法令 ・電灯配線と複線図 ・電気の基礎理論

募集定員： 100名程度（定員になり次第、締め切ります）

受講料（消費税込）： 9,200円

※テキストが必要な方は、別途テキスト代（2,000円）が必要です。テキストは、当日会場にてお渡しいたします。※受講料のみの方は、各自でテキストを購入し講習会に持参して下さい。事前に学習されたい方は、こちらをお薦めします。

テキスト 『ぜんぶ絵で見て覚える 第2種電気工事士筆記試験すい〜っと合格（2021年版）』
発売元：オーム社（令和2年11月頃発売予定） 出版社：ツールボックス

申込・問い合わせ先： URL https://www.kea.gr.jp/capacity/kousyu_20.html

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1番82号 電気ビル北館10階
一般社団法人 日本電気協会 九州支部
TEL： 092-771-2592 FAX： 092-781-5774



◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】

◆2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書(木住協仕様)講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◇新設住宅着工統計(令和2年10月分)

◆ 2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書 (木住協仕様)講習会

開催日: 2021年01月25日 ※申込締切 2021年01月18日

会場: ACU-H(紙与博多中央ビル6F) H0603小研修室
福岡市博多区博多駅中央街7-21 紙与博多中央ビル6F

定員: 40 名

時 間	プログラム
13:00～13:20	受 付
13:20～16:50 ※適時休憩が入ります	第1部: 省令準耐火構造の概要と実験概要
	第2部: 木住協特記仕様書の詳細
	第3部: 木住協仕様の運用方法について
	第4部: 住宅金融支援機構からのお知らせ
16:50	閉 会

種別	受講料 (税込)
新規	5,500円
既受講(修了証発行)	3,300円
既受講(修了証発行無し)	2,200円
新規(特例使用)	5,500円
既受講(特例使用・修了証発行)	3,300円
既受講(特例使用・修了証発行無し)	2,200円

申込・問い合わせ先: URL <https://www.mjkkoushuu.jp/seminar/detail/209>

(一社)日本木造住宅産業協会 研修部
TEL: 03-5114-3016 FAX: 03-5114-3020

- ◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催
- ◇ WEB版動画講習会
ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編
- ◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会
- ◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー
- ◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】
- ◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会
- ◆令和2年度能力開発セミナーのご案内
- ◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度
- ◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代住居リノベーション推進事業」
- ◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集
- ◇ 新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 令和2年度 能力開発セミナーのご案内

福岡職業能力開発促進センターより「令和2年度 能力開発セミナー」のご案内です。
福岡職業能力開発促進センターでは、企業における社員教育や働く方々の自己啓発等にお応えするため、“ものづくり分野”を中心に専門的知識や技能・技術の向上を図るための短期間（2～5日間）のセミナーを実施しています。

令和2年度開講 能力開発セミナーコース一覧はこちらをご覧ください。



コース番号	コース名	訓練日程	実施場所
1H031	実践建築設計2次元 C A D 技術 (R C造平面図編)	1/9(土),10(日)	本館棟：305教室
1M672	溶接作業における高度熟練技術 <匠塾>	1/9(土),23(土),30(土)	溶接施工実習場
1H011	実践建築設計2次元 C A D 技術 (木造平面図編)	1/16(土),23(土)	本館棟：305教室
1D071	P L C 制御の回路技術	1/20(水),21(木)	セミナー棟：S303

申込・問い合わせ先： URL <http://www3.jeed.or.jp/fukuoka/poly/zaishoku/2020/index3.html>

福岡職業能力開発促進センター 訓練第二課
〒806-0049 北九州市八幡西区穴生3-5-1
TEL 093-622-5738 FAX 093-631-6516





- ◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催
- ◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編
- ◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会
- ◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー
- ◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】
- ◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会
- ◇令和2年度能力開発セミナーのご案内
- ◆令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度
- ◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代住リノベーション推進事業」
- ◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集
- ◇新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 令和2年度 福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

福岡県では、県産木材を活用し、環境にやさしく耐久性にも優れた優良な木造住宅の普及促進を図るため、一定の基準を満たした木造住宅を新築又は購入する方に対して、予算の範囲内で助成金（補助金）を交付します。

●対象者●
自ら居住するために、今後、福岡県内で県の定める建設基準に適合する住宅を新築又は購入する方 ※購入する住宅は、人の居住の用に供したことのない住宅に限ります。

●主な基準●
・長期優良住宅の普及の促進に関する法律第6条にもとづく認定を受けていること
・一戸建ての木造軸組構造であること
・使用する木材のうち70パーセント以上を県内加工材とすること
・バリアフリー性能に関する一定の基準に適合すること 等

●助成内容●
床面積1平方メートル当たり2,137円（千円未満を切捨、限度額47万円）の助成が受けられます。県産木材の使用量に応じて、次のとおり上記1の助成金の額に上乘せされます。（この県産木材とは、福岡県産木材供給体制推進協議会の県産木材認証事業体又は福岡県産木材供給連絡協議会が発行する証明書があるものを言います）
5立法メートル未満 3万2千円
5立法メートル以上10立法メートル未満 9万6千円
10立法メートル以上15立法メートル未満 16万円
15立法メートル以上 19万3千円

●募集期限・受付期間●
募集期間： 令和2年4月1日から令和2年12月27日まで
認定通知または承認通知を受ける前に工事に着手（根切り工事または基礎杭打ち工事に着手した時点）した場合、助成を受けることができません。
交付申請は、竣工日（完了検査済証の日付または登記簿謄本の原因発生の日付）から1月が経過した日または令和3年3月15日のいずれか早い日までに行ってください。
※募集枠に達した時点で終了しますが、その際はホームページでお知らせします。

●注意事項●
・注文住宅と建売住宅で手続きが異なります。
・各手続きの書類は(1)から順番に閉じて提出下さい。
・各手続きにおいて必要な図面、写真はチェックシート（様式A）をご確認ください。
・書類が不足、記載漏れ等がある場合は受付できません。
・福岡県暴力団排除条例により、暴力団員等は本事業の助成対象者となることはできません。
・現地検査に伺うことがございますので、ご協力をお願いします。

申込方法
URL <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kaitekinasumaidukuri.html>

上記の書類を郵送又は直接持参してください。
申込先： 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
福岡県建築都市部住宅計画課民間住宅係宛



◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会
ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】

◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◆令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◇新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

若年世帯※1又は子育て世帯※2が行う既存住宅の子育て仕様へのリノベーション工事や親世帯と子世帯が近居・同居を行うためのリノベーション工事に係る費用の一部を補助する新たな「リノベーション推進事業補助金」を開始します。

※1 若年世帯：配偶者（婚姻の予約者等を含む）との年齢の合計が80歳以下である世帯

※2 子育て世帯：同居者に18歳未満の者又は妊娠している者がいる世帯

詳細HP （一財）福岡県建築住宅センター <http://www.fkjc.or.jp/kikaku/renove/hojo.html>

受付開始日

令和2年4月1日 ※予算がなくなり次第、受付を終了します。

事業目的

既存住宅の流通を促進するとともに、若年世帯・子育て世帯に対して住宅取得に係る経済的支援を行い、高齢者、子育て世帯等が共に安心して暮らすことができる多世代居住を促進する。

補助要件等

・下表に示すリノベーション工事で、かつ県内の事業者が請負う工事費30万円以上の工事を対象とします。

補助区分	補助対象工事	補助率・限度額
（１）流通型子育てリノベーション	既存住宅※1購入後に、若年世帯・子育て世帯が行う子育て対応改修※2工事	【子育て対応改修】 補助率1/3、限度額25万円
（２）流通型近居・同居リノベーション	既存住宅※1購入後に、若年世帯・子育て世帯が親世帯との近居・同居のために行う子育て対応※2改修及び高齢化対応改修※3工事 ※近居は、親世帯居住地の市区町村又は15kmの範囲内	【子育て対応改修】 補助率1/3、限度額25万円 【高齢化対応改修】 補助率1/3、限度額15万円 《最大限度額40万円》
（３）持家型同居リノベーション	若年世帯・子育て世帯が同居するために、親世帯の住宅に行う子育て対応改修※2工事	【子育て対応改修】 補助率1/3、限度額25万円

※1（１）、（２）の既存住宅は、建物検査「住まいの健康診断」を実施していることが要件

※2 子育て対応改修とは、居住性向上改修、長寿命化改修、省エネルギー改修、防犯性向上改修

※3 高齢化対応改修とは、バリアフリー対応改修

・対象地域

県が認める住宅支援策を実施する市町村内

・補助対象者

若年世帯又は子育て世帯（（２）、（３）の場合は、親世帯も可）

・適用期間

平成28年度から令和3年度まで

・補助戸数

令和2年度は70戸（予定）

このページに関するお問い合わせ先

[住宅計画課](#)

住環境整備係 Tel: 092-643-3734 Fax: 092-643-3737 mail: jukeikaku@pref.fukuoka.lg.jp



◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会
ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】
「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」
前編・後編

◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◇第二種電気工事士基礎講習会
【令和3年度試験対策】

◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

◆福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◇新設住宅着工統計（令和2年10月分）

◆ 福岡県ゆとりある住まいづくり協議会 新規会員募集

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会は、県民の住まいに対する関心を高め、良質な住宅の供給及び良好な住環境の整備を促進することにより、生活の豊かさを実感できるゆとりある住まいづくりの推進に寄与することを目的に活動している協議会です。

毎年、優秀な施工技術により成果を治めた建築業者の表彰を行っています。

福岡県が発注する工事の入札情報を、会員の方に随時メールでお知らせしています。

毎年、住宅や住環境に関する先進事例等の現地視察を行います。

事業内容

毎年、建築・住宅に関する研修会、講演会を開催しています。

住宅関連等に関する説明会や技術講習会、イベントなどの情報を毎月メールマガジンにて配信し、ホームページに「住まいの伝言版」を掲載しております。

住まいづくりに関する研修会等への助成、1件あたり20万円を上限に助成します。

会 長…福岡県知事

副会長…北九州市長、福岡市長、（一社）福岡県建設業協会会長

会員…行政、公共団体、建築工事業者、設備工事業者、識別工事業者、設計事務所など

・活動内容、年会費等のお問い合わせ先 → E-mail sumai-1952@fukuoka.email.ne.jp
TEL 092-643-3731

・申込、詳細 → <http://www.f-sumai.org/bosyu.html>

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
福岡県建築都市部 住宅計画課内
福岡県ゆとりある住まいづくり協議会



住まいの伝言板12月号

◇令和2年度「福岡県被災建築物応急危険度判定講習会」開催

◇WEB版動画講習会 ひとりで学べるRC造建築物の構造計算演習【保有水平耐力計算】「構造設計シリーズ／RC造編（基礎2コース）」前編・後編

◇令和2年度CLT設計者向け実務講習会

◇建設工事に関する産業廃棄物適正処理セミナー

◇第二種電気工事士基礎講習会【令和3年度試験対策】

◇2020年度 木造軸組工法による省令準耐火構造特記仕様書（木住協仕様）講習会

◇令和2年度能力開発セミナーのご案内

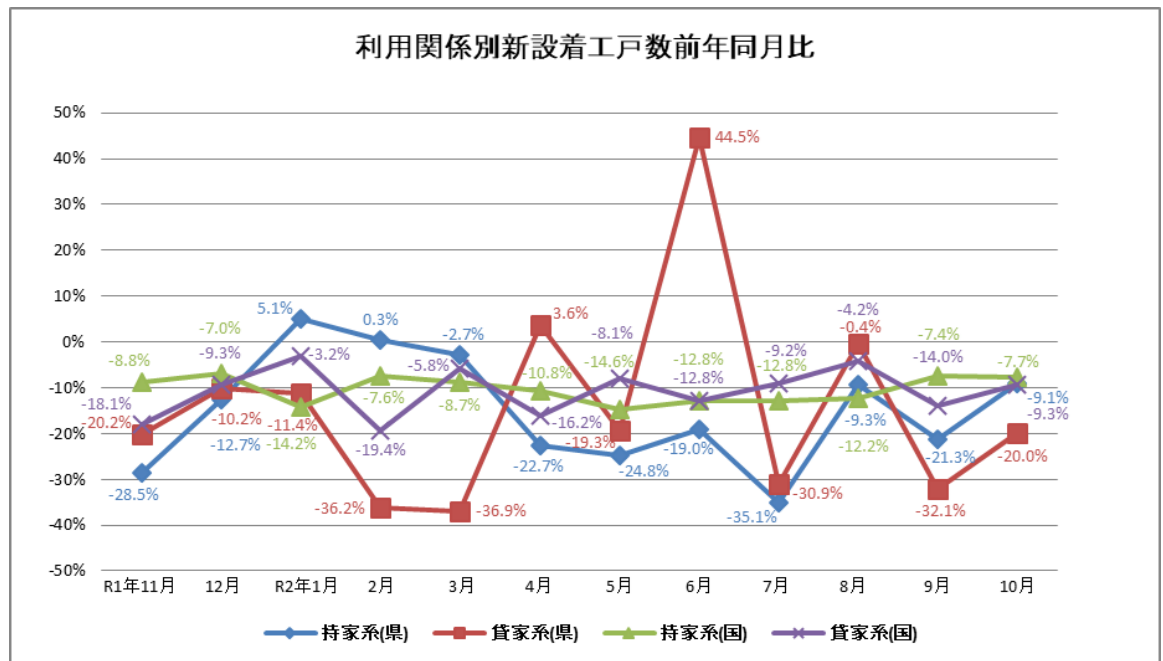
◇令和2年度福岡県快適な住まいづくり推進助成制度

◇令和2年度「福岡県既存住宅流通・多世代居住リノベーション推進事業」

◇福岡県ゆとりある住まいづくり協議会新規会員募集

◆ 新設住宅着工統計（令和2年10月分）

新設住宅着工戸数（令和2年10月分）



令和2年10月の新設住宅着工戸数

福岡県の10月の住宅着工戸数は3,204戸、前年度同月戸数を14.1%下回りました。
 利用関係別では、持ち家系（持家と分譲住宅を足したものは1,844戸、前年度比を9.1%下回りました。貸家系（貸家と給与住宅を足したものは1,360戸、前年度比を20.0%下回りました。
 また、全国の10月の住宅着工戸数は70,685戸で、前年同月戸数を8.3%下回りました。
 利用関係別では、持家系では43,719戸、前年度比を7.7%下回りました。貸家系では26,966戸で、前年度比を9.3%下回りました。

令和2年10月 利用関係別割合（県）

